
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 89 号(2020. 6. 23)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 89 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、地元の小中学校と積極的に連携した活動に取り組んでいる組織について紹介します。また、啓発・普及活動の 1 つとして滋賀県竜王町の組織が作成した広報誌について紹介します。

事務局からは、熱中症予防のための行動のポイントについて紹介します。

--- 第 89 号の目次 ---

1. 活動組織の紹介

☆ ^{ながとし}長門市 農地・水・環境保全組織へき保全会管理協定（山口県長門市）☆

2. 活動組織の広報誌紹介

☆ ^{すえ}須恵 ふるさとの組織（滋賀県 ^{りゅうおう}竜王町）☆

3. 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

～ 長門市 農地・水・環境保全組織へき保全会管理協定(山口県長門市)～

～地区概要～

山口県長門市のほぼ中央の中間農業地域で、大豆や水稻の栽培を中心とした地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 373.7ha、水路 110.1km、農道 57.4km、ため池 1 か所。

～主な取組～

本組織は、平成 19 年度から 掛 淵 川水系にて活動する 2 つの組織が、高齢化や不在地主の増加等により活動の継続が困難になってきたことを理由に、平成 24 年度に合併して広域組織となりました。

農用地周りの水利施設等の保全管理や軽微な補修等を本組織が継続して担うことで、担い手の負担軽減に貢献しています。

また、地元の小学校と連携して、餅米の種まき・田植えから収穫・試食まで、伝統的な農作業体験を実施しています。近年ではあまり見られなくなった”はぜ掛け”や”としゃく”を制作して昔ながらの田園風景を再現しているほか、収穫後の稲藁で”しめ縄”を作り、農村の伝統文化に触れる機会を設けています。加えて、生き物調査も実施しており、長門市出身の水生昆虫の専門家に協力してもらい、生息する生物の種類から川の水質状況を判断するなど、子どもたちが自然と触れ合える活動を行っています。また、地元の中学校とも連携して用排水路の清掃活動を実施するなど、地域の小中学校と供に農村環境保全活動に継続して取り組んでいます。



水路バルブの補修



稲わらを積み上げた
としゃくの制作作業



支部代表者による研修会



小学生との生き物調査

【長門市農地・水・環境保全組織へき保全会管理協定 代表 阿波 宏之】

■2. 活動組織の広報誌紹介(第1弾)

～須恵ふるさとの組織(滋賀県竜王町)～■

本交付金では、資源向上活動の1つに啓発・普及活動が位置付けられており、多くの組織が特色のある広報誌を発行しています。

本記事では、滋賀県竜王町の活動組織が作成した広報誌の画像や作成のポイントを掲載しています。広報誌の画像をご覧になれない方は、以下のURLをご利用ください。

▽農村ふるさと保全通信 HP▽

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

ー郷（ふるさと）ー

◇年に2回（概ね9月と3月）、集落内の住民を対象に、紙媒体で広報誌「郷（ふるさと）」を配布しています。

◇9月号では定期総会の概要や農業用施設の機能診断等の結果のほか、子ども会育成会と共同で主催したイベントを掲載し、3月号では農業用施設の補修実施状況を掲載しています。

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

広報誌の『あとがき』では、文量こそ短いものの、受け継がれていく農地・農村を少しずつでも着実に後世につなげられるようにしたいという役員の熱い思いを伝えています。

■ 3. 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント ■

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」を取り入れ実践することが求められています。これから夏を迎えるにあたり、例年よりもいっそう熱中症にもご注意ください。この「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントをまとめました。マスク着用により熱中症リスクが増加することが懸念されるため、活動中のマスク使用には特にお気をつけください！

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】



令和2年度の 熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・ エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・ 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・ 暑い日や時間帯は無理をしない
- ・ 涼しい服装にする
- ・ 急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



距離を十分にとる

- ・ 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・ 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・ マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・ のどが渇く前に水分補給
- ・ 1日あたり1.2リットルを目安に
- ・ 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・ 日頃から体温測定、健康チェック
- ・ 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・ 暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・ 水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・ 「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



新型コロナウイルス感染症に関する情報:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

熱中症に関する詳しい情報: <https://www.wbgt.env.go.jp/>



■編集後記■

昨夏には、縄文杉を拝むため屋久島を訪れました。トレッキングの道中に次々と現れる屋久杉の老木には終始圧倒されましたが、強く印象に残っているのは、その外観ではなく内側から見た景色だったりします。下の写真は、ウィルソン株と呼ばれる屋久杉の切り株で、内部から空を見上げるとハート型に見えるポイントがあることで知られています。「ひと月に 35 日雨が降る」と言われる屋久島で、最高の天気にも恵まれたことも思い出深いです。

コロナ禍も晴れば、またもう一度訪れたいと思います。



◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：岡田、小林）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
